

授業科目	生徒指導論				単位	2		
履 修	選択	関連資格	栄教一種免		ナンバリング	NT34112J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-1			
担当教員	秋山 俊史							
授業概要	生徒指導の意義及び内容を理解し、子どもの意識と行動の変化や抱えている問題、及び効果的な指導方法・指導体制等について解説する。また、子どもや学校をめぐる事件・事故や災害などの危機に対応する方法を検討する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生徒指導の意義・内容を説明できる。 2. 生徒理解や予防的・開発的生徒指導の必要性を理解し、実践することができる。 3. 子どもや学校をめぐる事件事故・災害等への危機管理について説明することができる。 4. 生徒指導に関する教育課題の対応策について、小論文にまとめることができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	論文試験 30	10	30	10	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)	30						30	
知識・理解 (DP1-2)		10					10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			10				10	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)				10			10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)			10				10	
態度(DP4-2)			10				10	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				10		10	20	
技能・表現 (DP5-2)						10	10	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
○子ども達の問題行動の要因を理解している。 ○全ての子ども達の好ましい人格の発達と、自己実現のための援助者としての教師の役割や指導方法について理解し、論文としてまとめることができる。				○子ども達の問題行動の要因について理解している。 ○子ども達の問題行動について、対応の在り方を理解して論述することができる。				

○子ども達の安全を守るためには学校・教師はどう行動すべきか、また、子ども達自身が自分の生命や安全を守るようになるためにはどのような教育が必要であるのかについて理解し、発表・論述することができる。		○子ども達の安全を守るには、どのような教育方法があるのか、述べることができる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	<p>テーマ:オリエンテーション授業概要の説明</p> <p>生徒指導とは 教師の社会的使命とは</p> <p>教育基本法、中央教育審議会答申等から分かる生徒指導の役割について考察</p>	講義と演習	<p>予習:次授業の確認 復習:該当部分の復習</p>	30
2	<p>テーマ:人はどのように社会性を身に付けるのか</p> <p>人間の発達と教育、発達課題と思春期危機について解説</p>	講義と演習	<p>予習:次授業の確認 復習:該当部分の復習</p>	30
3	<p>テーマ:社会の変化が、子ども達にどのような影響を与えているか</p> <p>都市化・少子化・高度情報化の影響についての解説 校則に対する考え方の変容 論文の書き方についての解説</p>	講義と演習	<p>予習:次授業の確認 復習:該当部分の復習</p>	30
4	<p>テーマ:予防的・基本的な対応と体制づくり</p> <p>危機管理意識、児童生徒理解についての解説</p> <p>生徒指導体制の確立について解説</p>	講義と演習	<p>予習:次授業の確認 復習:該当部分の復習</p>	30
5	<p>テーマ:予防的・小中一貫連携教育とは</p> <p>現状と課題 小中一貫・連携教育野目的 対応についての考察</p>	講義と演習	<p>予習:次授業の確認 復習:該当部分の復習</p>	60
6	<p>テーマ:問題行動の早期発見と効果的な指導</p> <p>問題行動についての理解、喫煙、飲酒、薬物乱用、暴力行為について解説</p>	講義と演習	<p>予習:次授業の確認 復習:該当部分の復習</p>	60
7	<p>テーマ: 問題行動への対応</p> <p>事例を活用し、具体的な対応についてグループワークで検討し発表する。 具体的対応についての考察</p>	講義と演習	<p>予習:次授業の確認 復習:該当部分の復習</p>	60
8	<p>テーマ:不登校の早期発見と効果的な指導</p> <p>不登校の定義とこれまでの変遷過程、対応についての解説</p>	講義と演習	<p>予習:次授業の確認 復習:該当部分の復習</p>	60

9	テーマ: 不登校児童生徒への対応 具体的な対応についてグループワークで検討し発表する。具体的な対応についての考察	講義と演習	予習: 次授業の確認 復習: 該当部分の復習	60
10	テーマ: いじめの早期発見と効果的な指導 いじめ問題の理解、いじめ問題への対応についての解説	講義と演習	予習: 次授業の確認 復習: 該当部分の復習	60
11	テーマ: いじめへの対応 具体的な対応についてグループワークで検討し発表する。具体的な対応についての考察	講義と演習	予習: 小論文構成の事前確認 復習: 該当部分の復習	60
12	テーマ: 問題事象及び生徒指導に関する小論文テスト	小論文試験	予習: 次授業の確認 復習: 小論文構成の振り返り	60
13	テーマ: 進路指導 面接についての解説 模擬授業についての解説	講義と演習	予習: 次授業の確認 復習: 該当部分の復習	60
14	テーマ: 進路指導・キャリア教育の意義 進路指導からキャリア教育移行についての解説	講義と演習	予習: 論文構成の再確認 復習: 該当部分の復習	60
15	テーマ: 総合論文試験	試験		
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	<p>○新聞報道等に取り上げられている教育に関するニュースや、学校・子ども達をめぐる事件や事象に関心を持ち、記事を精読することにより背景や経緯を理解しておく。</p> <p>○文部科学省より発表された「中央教育審議会」答申について通読しておく。</p>
テキスト	「生徒指導提要」文部科学省発行(2022. 12に改訂され、現在冊子として市販されていないため、必要な部分の複写で活用する)
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて行う。
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	不明な生徒指導上の文言や答申等については、書籍やインターネット等で調べ、まとめておくこと。特にテキストとして活用する「生徒指導提要」は現在デジタルテキストとして文部科学省のホームページに掲載されているので、熟読しておくこと。また、生徒指導に関する実践的なことは遠慮なく質問していただきたい。
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	その他は論文及び各授業のまとめや授業貢献度で評価する。